



## 効率性の追求と独創性と創造性

令和6年6月28日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

効率性の追求は、IT 環境とシステム化において、より優れた現実を与える。開発デザイン製品化における独創性と創造性は、その理解の進歩と拡大における独自製品とサービスにおいて市場におけるコアコンピタンスの要求を可能とできるのである。

これらは企業基準と新しいコンセンサスを求め、これら新しい現実が上記現実を可能とするのである。

これらは理解の拡大が技術進歩とともに現実の向上を与えるものであり、独創性はその積み重ねに過ぎないのである。

知的修正産業への転換はすべての産業分野における新しい現実なのである。それらの高い利益性は新しい市場の現実なのである。

これら産業環境と構造の転換は、その遥かに大きな変化を今日有するのである。

これら新しい企業経営と環境は、その先端性において優れるものである。これらが今日の変化が、より高い生産性と効率性、企業製品の進歩において産業革命と伝えられるのである。

これら自動化と IT 化、システム化は、その企業の完成への到達であることは一つの真実である。

過去企業努力において模索した自己の姿が、がこれに類似するからである。

これら現実企業において可能性と創造性という新しい現実への参加を提案するのである。

技術とシステムの進歩は社会変化を与え、これら物資は企業において生産されるものなのである。

自由経済システムという自由という合意は、企業の限らない選択と行動を許容するものである。